

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年11月13日(2023.11.13)

【公開番号】特開2022-14078(P2022-14078A)

【公開日】令和4年1月19日(2022.1.19)

【年通号数】公開公報(特許)2022-009

【出願番号】特願2020-116232(P2020-116232)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月2日(2023.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示を開始するときに特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記有利状態に制御されることを報知する特別報知演出を実行可能な特別報知演出実行手段と、

遊技者の選択操作に基づいて第1演出状態と該第1演出状態よりも前記特別報知演出が実行され易い第2演出状態と、を少なくとも含む複数種類の演出状態に制御可能な演出状態制御手段と、を備え、

前記特定演出が実行される場合の方が前記特定演出が実行されない場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く、

前記特別報知演出の実行タイミングとして、前記特定演出が開始してから特定期間経過後の特定タイミングと、該特定タイミングとは異なる所定タイミングと、を少なくとも含み、

前記第1演出状態から前記第2演出状態に制御されたときに、前記所定タイミングにおいて前記特別報知演出が実行される割合を所定割合増加させることができあり、

前記第1演出状態から前記第2演出状態に制御されたときに、前記特定タイミングにおいて前記特別報知演出が実行される割合を前記所定割合よりも高い特定割合増加させることができあり、

前記特別報知演出として、第1特別報知演出と、該第1特別報知演出よりも遊技者にとっての認識度が高い第2特別報知演出と、を実行可能であり、

音を出力可能な音出力手段をさらに備え、

第1特別報知演出は、前記音出力手段から特定音を出力する演出を含まず、前記第2特別報知演出は、前記音出力手段から前記特定音を出力する演出を含む、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【 0 0 0 7 】

(A) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可変表示を開始するときに特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、
前記有利状態に制御されることを報知する特別報知演出を実行可能な特別報知演出実行手段と、
遊技者の選択操作に基づいて第1演出状態と該第1演出状態よりも前記特別報知演出が実行され易い第2演出状態と、を少なくとも含む複数種類の演出状態に制御可能な演出状態制御手段と、を備え、

前記特定演出が実行される場合の方が前記特定演出が実行されない場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く、 10

前記特別報知演出の実行タイミングとして、前記特定演出が開始してから特定期間経過後の特定タイミングと、該特定タイミングとは異なる所定タイミングと、を少なくとも含み、

前記第1演出状態から前記第2演出状態に制御されたときに、前記所定タイミングにおいて前記特別報知演出が実行される割合を所定割合増加させることができあり、

前記第1演出状態から前記第2演出状態に制御されたときに、前記特定タイミングにおいて前記特別報知演出が実行される割合を前記所定割合よりも高い特定割合増加させることができあり、

前記特別報知演出として、第1特別報知演出と、該第1特別報知演出よりも遊技者にとっての認識度が高い第2特別報知演出と、を実行可能であり、 20

音を出力可能な音出力手段をさらに備え、

第1特別報知演出は、前記音出力手段から特定音を出力する演出を含まず、前記第2特別報知演出は、前記音出力手段から前記特定音を出力する演出を含む、

ことを特徴とする。

さらに、上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、

可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な記憶手段（例えば未だ開始条件が成立していない変動表示に関する情報を記憶する第1保留記憶バッファや第2保留記憶バッファなど）と、 30

前記有利状態に制御されることを報知する特別報知演出を複数タイミングにおいて実行可能な特別報知演出実行手段と、を備え、

前記特別報知演出実行手段は、可変表示の実行中に新たに保留記憶が発生した場合に、該保留記憶に対応した可変表示が開始するタイミングで前記特別報知演出を実行可能であり（例えばタイミングT1においてプレミア振動演出を実行可能であるなど）、

可変表示が実行されていない状態で新たに保留記憶が発生した場合に、該保留記憶に対応した可変表示が開始するタイミングにおける前記特別報知演出の実行が制限される（例えば保留が記憶されていない状況においては変動開始時のタイミングにおけるプレミア振動演出を禁止するなど）、 40

ことを特徴とする。

また本発明に係る他の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、

可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な記憶手段（例えば未だ開始条件が成立していない変動表示に関する情報を記憶する第1保留記憶バッファや第2保留記憶バッファなど）と、

前記有利状態に制御されることを報知する特別報知演出を複数タイミングにおいて実行可能な特別報知演出実行手段と、を備え、

前記特別報知演出実行手段は、前記記憶手段に所定数以上の保留記憶が記憶されている 50

状態で新たに保留記憶が発生した場合に、該保留記憶に対応した可変表示が開始するタイミングで前記特別報知演出を実行可能であり（例えば入賞時における保留数が2以上である場合、変動開始時のタイミングであるタイミングT1においてプレミア振動演出を実行可能であるなど）、

前記記憶手段に前記所定数未満の保留記憶が記憶されている状態で新たに保留記憶が発生した場合に、該保留記憶に対応した可変表示が開始するタイミングにおける前記特別報知演出の実行が制限される（例えば入賞時における保留数が2未満である場合には、タイミングT1においてプレミア振動演出が実行されないなど）、

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50